

様式 3

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

《2023 年 5 月 1 日現在》

学部 ・学科等 の名称	専任教員数								非常 勤教 員	専任教員 一人あた りの在籍 学生数	備考
	教授	准教 授	講師	助教	計	基準 数	うち 理学 療法 士又 は作 業療 法士 数	助手			
健康科学 部作業療 法学科(リ ハビリテー ション学科含 む)	4 人	1 人	2 人	5 人	12 人	9 人	9 人	0 人	15 人	9.9 人	
計	4 人	1 人	2 人	5 人	12 人	9 人	9 人	0 人	15 人	—	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授で きる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の 知識を有する教員が担当している。	4
	9 割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以 上の知識を有する教員が担当している。	3
	8 割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以 上の知識を有する教員が担当している。	2

	上記以外である。	1
--	----------	---

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野	指定規則 教育内容	相当授業 科目名	担当コマ 数	担当教員	
				氏名	職名
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅰ（1組）	15	坂本 宏史	兼任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅰ（2組）	15	三科 貴博	兼任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅰ（3組）	15	関根 聡美	兼任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅰ（4組）	15	石井 智也	兼任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅰ（5組）	15	稲場 直子	専任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅰ（6組）	15	小川 麻里子	専任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅰ（7組）	15	向山 秀	専任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅰ（8組）	15	宇賀 美奈子	兼任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅰ（9組）	15	高田 毅	兼任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅱ（1組）	15	稲場 直子	専任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅱ（2組）	15	小川 麻里子	専任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅱ（3組）	15	向山 秀	専任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅱ（4組）	15	前川 真奈美	兼任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅱ（5組）	15	宇賀 美奈子	兼任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅱ（6組）	15	坂本 宏史	兼任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅱ（7組）	15	大塚 篤也	兼任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅱ（8組）	15	坂本 祐太	兼任
基礎	科学的思考の基盤	基礎演習Ⅱ（9組）	15	源 祐介	兼任
基礎	科学的思考の基盤	基礎数学演習	15	宇賀 美奈子	兼任
基礎	科学的思考の基盤	統計学	15	升 佑二郎	兼任
基礎	科学的思考の基盤	心理学	15	前川 真奈美	兼任

基礎	科学的思考の基盤	情報リテラシー	8	升 佑二郎	兼任
基礎	科学的思考の基盤	物理基礎	8	本多 英彦	兼任
基礎	科学的思考の基盤	化学基礎	8	大幡 久之	兼任
基礎	科学的思考の基盤	化学基礎 集中	8	坂本 宏史	兼任
基礎	科学的思考の基盤	心理学と心理的支援（心理学概論）	15	前川 真奈美	兼任
基礎	科学的思考の基盤	英語Ⅰ－１	15	井上 美奈子	兼任
基礎	科学的思考の基盤	英語Ⅰ－１	15	ジェイソン・ティーン・スタージョン	兼任
基礎	科学的思考の基盤	英語Ⅰ－２	15	井上 美奈子	兼任
基礎	科学的思考の基盤	英語Ⅰ－２	15	ジェイソン・ティーン・スタージョン	兼任
基礎	科学的思考の基盤	英語Ⅱ－１	15	井上 美奈子	兼任
基礎	科学的思考の基盤	英語Ⅱ－２	15	井上 美奈子	兼任
基礎	科学的思考の基盤	英語 リーディング・ライティング	15	ジェイソン・ティーン・スタージョン	兼任
基礎	科学的思考の基盤	英語 コミュニケーション	15	ジェイソン・ティーン・スタージョン	兼任
基礎	科学的思考の基盤	英語会話	15	ジェイソン・ティーン・スタージョン	兼任
基礎	科学的思考の基盤	基礎韓国語	15	成 昌燮	兼任
基礎	科学的思考の基盤	はじめての韓国語会話	15	成 昌燮	兼任
基礎	人間と生活	現代医療史	8	山本 泰宏	兼任
基礎	人間と生活	生命学	4	井上 美奈子	兼任
基礎	人間と生活	生命学	4	宇賀 美奈子	兼任
基礎	人間と生活	生活健康学	15	永井 正則	専任
基礎	人間と生活	富士山と環境	15	志茂 聡	専任
基礎	人間と生活	宗教学	8	松崎 昇	兼任
基礎	人間と生活	現代社会と倫理	8	松崎 昇	兼任
基礎	人間と生活	健康科学論 集中	1	浅野 克俊	専任
基礎	人間と生活	健康科学論 集中	1	石野 徳子	兼任
基礎	人間と生活	健康科学論 集中	1	粕山 達也	兼任
基礎	人間と生活	健康科学論 集中	1	窪川 理英	兼任
基礎	人間と生活	健康科学論 集中	1	高田 毅	兼任
基礎	人間と生活	健康科学論 集中	1	前川 真奈美	兼任
基礎	人間と生活	健康科学論 集中	1	三科 貴博	兼任
基礎	人間と生活	健康科学論 集中	1	渡辺 俊太郎	専任

基礎	人間と生活	異文化比較論	2	井上 美奈子	兼任
基礎	人間と生活	異文化比較論	2	ジエイソン・ディーン・ スタージョン	兼任
基礎	人間と生活	異文化比較論	2	成 昌燮	兼任
基礎	人間と生活	異文化比較論	2	松崎 昇	兼任
基礎	人間と生活	共生学	8	前川 真奈美	兼任
基礎	人間と生活	人間学	5	松崎 昇	兼任
基礎	人間と生活	人間学	5	山本 泰宏	兼任
基礎	人間と生活	比較行動学	15	長谷川 真紀 子	兼任
基礎	人間と生活	人権と法	15	岡田 大助	兼任
基礎	人間と生活	教育原理	15	升 佑二郎	兼任
基礎	人間と生活	経済と経営	15	松崎 昇	兼任
基礎	人間と生活	スポーツの理論と実際	15	升 佑二郎	兼任
基礎	社会の理解	人間関係論	8	鈴木 真吾	兼任
基礎	社会の理解	コミュニケーション論	8	瀧口 綾	兼任
基礎	社会の理解	臨床人間学スタディーズ	15	宇賀 美奈子	兼任
基礎	社会の理解	臨床人間学スタディーズ	15	小川 麻里子	専任
		臨床人間学スタディーズ	15	鈴木 真吾	兼任
基礎	社会の理解	臨床人間学スタディーズ	15	柁木 隆寿	兼任
基礎	社会の理解	臨床社会学スタディーズ	15	宇賀 美奈子	兼任
基礎	社会の理解	臨床社会学スタディーズ	15	瀧口 綾	兼任
基礎	社会の理解	臨床社会学スタディーズ	15	鈴木 真吾	兼任
基礎	社会の理解	ジェンダースタディーズ	8	坂本 宏史	兼任
基礎	社会の理解	ジェンダースタディーズ	8	宇賀 美奈子	兼任
基礎	社会の理解	ジェンダースタディーズ	8	小川 麻里子	専任
基礎	社会の理解	コミュニケーションスタディーズ	8	宇賀 美奈子	兼任
基礎	社会の理解	コミュニケーションスタディーズ	8	鈴木 真吾	兼任
基礎	社会の理解	コミュニケーションスタディーズ	8	前川 真奈美	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	人間発達学	15	渡辺 俊太郎	専任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学 I	15	坂本 宏史	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学 I	15	志茂 聡	専任

	身の発達				
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅱ	15	坂本 宏史	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅱ	15	志茂 聡	専任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	病理学	8	成 昌燮	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学実習	23	坂本 宏史	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学実習	23	志茂 聡	専任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学実習	23	成 昌燮	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学演習	5	小川 麻里子	専任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学演習	5	坂本 宏史	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学演習	5	志茂 聡	専任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	生理学	15	稲場 直子	専任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	生理学演習	30	稲場 直子	専任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	生理学実習	23	稲場 直子	専任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学Ⅰ	15	久保田 茂希	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学Ⅱ	15	久保田 茂希	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学実習	12	小川 麻里子	専任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	運動学実習	12	岡 猛	専任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	微生物学・免疫学	15	田中 将志	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	社会心理学	15	高田 毅	兼任

専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	神経心理学	15	柁木 隆寿	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	臨床心理学	15	瀧口 綾	兼任
専門基礎	人体の構造と機能及び心身の発達	児童青年心理学	15	前川 真奈美	兼任
専門基礎	人間の構造と機能及び心身の発達	障害者・障害児心理学	15	前川 真奈美	兼任
専門基礎	人間の構造と機能及び心身の発達	障害者心理学	15	前川 真奈美	兼任
専門基礎	人間の構造と機能及び心身の発達	発達心理学	15	瀧口 綾	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	整形外科学	15	山本 泰宏	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	神経内科学	15	竹川 正純	専任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床医学総論	8	榎本 温	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	内科学	15	竹川 正純	専任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	小児科学	8	小林 千尋	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学	15	久保木 智洸	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション医学	8	山本 泰宏	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	栄養学	15	永井 正則	専任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	公衆衛生学	8	藤井 充	兼任
専門基礎	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	薬学	8	榎本 温	兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	世界の福祉	15	田村 正人	兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	現代社会と福祉Ⅰ	15	田村 正人	兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ	精神保健学Ⅰ	15	宮澤 江梨子	兼任

	テーションの理念				
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	高齢者福祉	15	間嶋 健	兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	障害者福祉	15	増田 洋介	兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	就労支援サービス	15	井出 輝美	兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	リハビリテーション特別講義 I	2	三科 貴博	兼任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	リハビリテーション特別講義 I	2	小川 麻里子	専任
専門基礎	保健医療福祉とリハビリ テーションの理念	リハビリテーション特別講義 I	4	瀧口 綾	兼任
専門	基礎作業療法学	作業療法概論	10	小沢 健一	専任
専門	基礎作業療法学	作業療法概論	1	榎田 哲弥	専任
専門	基礎作業療法学	作業療法概論	1	浅野 克俊	専任
専門	基礎作業療法学	作業療法概論	1	岡 猛	専任
専門	基礎作業療法学	作業療法概論	1	渡辺 俊太郎	専任
専門	基礎作業療法学	作業療法概論	1	向山 秀	専任
専門	基礎作業療法学	基礎作業学	15	榎田 哲弥	専任
専門	基礎作業療法学	基礎作業学演習	15	榎田 哲弥	専任
専門	基礎作業療法学	基礎作業学演習	15	渡辺 俊太郎	専任
専門	基礎作業療法学	基礎作業学演習	15	向山 秀	専任
専門	基礎作業療法学	作業療法演習 I-1	15	浅野 克俊	専任
専門	基礎作業療法学	作業療法演習 I-1	15	榎田 哲弥	専任
専門	基礎作業療法学	作業療法演習 I-1	15	小沢 健一	専任
専門	基礎作業療法学	作業療法演習 I-1	15	小川 麻里子	専任
専門	基礎作業療法学	作業療法演習 I-1	15	岡 猛	専任
専門	基礎作業療法学	作業療法演習 I-1	15	志茂 聡	専任
専門	基礎作業療法学	作業療法演習 I-1	15	向山 秀	専任
専門	基礎作業療法学	作業療法演習 I-1	15	渡辺 俊太郎	専任
専門	基礎作業療法学	研究法概論	8	稲場 直子	専任
専門	基礎作業療法学	卒業研究	60	志茂 聡	専任
専門	作業療法管理学	作業療法管理学	8	浅野 克俊	専任
専門	作業療法管理学	作業療法管理学	7	渡辺 俊太郎	専任
専門	作業療法評価学	作業療法評価学	15	小川 麻里子	専任
専門	作業療法評価学	身体作業療法評価学演習	30	浅野 克俊	専任

専門	作業療法評価学	身体作業療法評価学演習	30	岡 猛	専任
専門	作業療法評価学	精神作業療法評価学演習	18	中込 慶太	兼任
専門	作業療法評価学	精神作業療法評価学演習	8	榎田 哲弥	専任
専門	作業療法評価学	精神作業療法評価学演習	4	小沢 健一	専任
専門	作業療法評価学	発達作業療法評価学演習	15	渡辺 俊太郎	専任
専門	作業療法評価学	日常生活評価学演習	15	榎田 哲弥	専任
専門	作業療法評価学	作業療法演習Ⅰ-2	15	浅野 克俊	専任
専門	作業療法評価学	作業療法演習Ⅰ-2	15	榎田 哲弥	専任
専門	作業療法評価学	作業療法演習Ⅰ-2	15	小沢 健一	専任
専門	作業療法評価学	作業療法演習Ⅰ-2	15	小川 麻里子	専任
専門	作業療法評価学	作業療法演習Ⅰ-2	15	岡 猛	専任
専門	作業療法評価学	作業療法演習Ⅰ-2	15	志茂 聡	専任
専門	作業療法評価学	作業療法演習Ⅰ-2	15	向山 秀	専任
専門	作業療法評価学	作業療法演習Ⅰ-2	15	渡辺 俊太郎	専任
専門	作業療法治療学	身体障害作業療法治療学	15	小沢 健一	専任
専門	作業療法治療学	精神障害作業療法治療学	15	中込 慶太	兼任
専門	作業療法治療学	老年期作業療法学	15	榎田 哲弥	専任
専門	作業療法治療学	高次脳機能障害治療学	15	小沢 健一	専任
専門	作業療法治療学	身体障害作業療法治療学演習	10	小沢 健一	専任
専門	作業療法治療学	身体障害作業療法治療学演習	8	岡 猛	専任
専門	作業療法治療学	身体障害作業療法治療学演習	2	浅野 克俊	専任
専門	作業療法治療学	精神障害作業療法治療学演習	30	柿崎 崇	兼任
専門	作業療法治療学	日常生活活動学演習	15	榎田 哲弥	専任
専門	作業療法治療学	発達障害作業療法治療学演習	15	渡辺 俊太郎	専任
専門	作業療法治療学	義肢装具学	12	岡 猛	専任
専門	作業療法治療学	義肢装具学	3	野口 智子	兼任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-1	15	浅野 克俊	専任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-1	15	榎田 哲弥	専任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-1	15	小沢 健一	専任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-1	15	小川 麻里子	専任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-1	15	岡 猛	専任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-1	15	志茂 聡	専任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-1	15	向山 秀	専任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-1	15	渡辺 俊太郎	専任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-2	15	浅野 克俊	専任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-2	15	榎田 哲弥	専任

専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-2	15	小沢 健一	専任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-2	15	小川 麻里子	専任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-2	15	岡 猛	専任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-2	15	志茂 聡	専任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-2	15	向山 秀	専任
専門	作業療法治療学	作業療法演習Ⅱ-2	15	渡辺 俊太郎	専任
専門	作業療法治療学	作業療法学特論	4	志茂 聡	専任
専門	作業療法治療学	作業療法学特論	7	榎田 哲弥	専任
専門	作業療法治療学	作業療法学特論	4	小沢 健一	専任
専門	作業療法治療学	マニュアルセラピー	15	関口 賢人	兼任
専門	作業療法治療学	スポーツ医学	8	山本 泰宏	兼任
専門	作業療法治療学	スポーツ理学療法学	15	粕山 達也	兼任
専門	地域作業療法学	地域作業療法学	15	浅野 克俊	専任
専門	地域作業療法学	地域生活支援学	12	浅野 克俊	専任
専門	地域作業療法学	地域生活支援学	3	長谷川 文	兼任
専門	地域作業療法学	生活環境学演習	15	浅野 克俊	専任
専門	臨床実習	臨床実習Ⅰ（見学実習）	45 時間	浅野 克俊	専任
専門	臨床実習	臨床実習Ⅱ（地域実習）	45 時間	浅野 克俊	専任
専門	臨床実習	臨床実習Ⅲ（評価実習）	225 時間	小沢 健一	専任
専門	臨床実習	臨床実習Ⅳ（総合実習）	405 時間	小沢 健一	専任
専門	臨床実習	臨床実習Ⅴ（総合実習）	405 時間	小沢 健一	専任

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
臨床実習Ⅰ（見学実習）一般病院・施設・精神病院の見学	1年後期	作業療法概論	1年前期
臨床実習Ⅱ（地域実習）通所リハビリテーションの見学・実践	3年後期	地域作業療法学	3年前期
		地域生活支援学	3年前期
		作業療法演習Ⅱ-1	3年前期
		作業療法演習Ⅱ-2	3年後期
臨床実習Ⅲ（評価実習）リハビリテーションの評価・実践	3年後期	作業療法演習Ⅱ-1	3年前期
		作業療法演習Ⅱ-2	3年後期
臨床実習Ⅳ（総合実習）リハビリテーションの実践	4年前期	作業療法演習Ⅱ-1	3年前期
		作業療法演習Ⅱ-2	3年後期
臨床実習Ⅴ（総合実習）リハビリテーションの実践	4年通年	作業療法演習Ⅱ-1	3年前期
		作業療法演習Ⅱ-2	3年後期

【自己評価 3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3

	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	自己点検・自己評価委員会
委員名（委員長）	学長
組織の開催頻度	1年に一度程度
組織の取り組み内容	・ 自己点検・評価の実施および結果の公表
自己点検・評価結果の公表	H P で公表（URL：https://www.kenkoudai.ac.jp/about/92/）

【自己評価 4-2】 当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
------	------	----

○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する 仕組み	名称	ファカルティ・ディベロップメント委員会
	委員構成等	学科から選出された教員各 1 名と共通科目長が必要と認めた者 1 名、計 4 名で構成される。
	改善の仕組みの実際	毎年 11 月頃、シラバスに関する FD 研修を行い、次年度シラバスの検討を実施。構成員でチェック。

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

定期的に日本高等教育評価機構の評価を受審し、結果をホームページに公表している。 自己点検・自己評価委員会を開催し、毎年度自己点検評価書を作成し、課題の改善に努めている。
--